地域経済論

担当者 西嶋　淳

開講時期 後期　　**単　位** 2

●講義の概要
地域経済学の視点による地域経済にかかわる論点の概説と論点ごとの発表や討論の組み合わせにより、適切な地域経済政策を考えるための基礎的能力の習得を目指します。

●講義の到達目標
地域経済学の基本的な考え方や専門知識並びに分析方法を理解し、その概略を説明できるようになる。数回の発表や討論などを通じて地域経済にかかわる論点について検討を深めることにより、重要な課題について適切に説明できるようになる。最終的に、地域経済政策を構想するために必要となる基礎的な能力を習得することを目標とします。

●講義計画
第１回：地域経済の概念と地域経済学
第２回：地域経済の基本構造
第３回：地域経済の成長に関する理論モデル
第４回：地域経済の分析例の概観と検討
第５回：地域間交易と産業内交易
第６回：交易構造の概観と検討
第７回：地域間格差と人口移動
第８回：地域格差問題の概観と検討
第９回：立地と空間構造
第10回：土地・空間利用問題の概観と検討
第11回：集積の経済
第12回：集積の経済効果の概観と検討
第13回：地域開発と投資、金融
第14回：地域活性化施策の概観と検討
第15回：地域経済の本質と地域経済政策の展望

●成績評価基準と方法
①評価方法
以下の事項、割合により評価します。
・講義内容に対する考察を深め、その理解度を受講生自身が確認できるように複数回（６回を予定)、課した発表への取り組み状況や討論への参加状況〔60％〕
・受講による成果全般について目標達成度を評価するために課した期末の課題レポートの内容〔40％〕
②評価基準
・地域経済学の基本的な考え方や専門知識並びに分析方法を理解し、その概略を説明できるか。
・ものごとを多面的・客観的に捉える思考方法により、発表や討論などにおいて、地域経済にかかわる重要な課題について適切に説明できるか。
・地域経済政策を考えるために必要となる基礎的な分析方法を習得し、これを活用して地域経済の課題解決に向けた構想などを文章にまとめることができるか。

●テキスト又は参考文献
―テキスト―
・山田浩之・徳岡一幸『地域経済学入門［第３版］』有斐閣 2018年 2,750円
―参考文献―
講義中に適宜紹介しますが、主要な参考文献は以下のとおりです。
・J. ジェイコブズ『発展する地域 衰退する地域―地域が自立するための経済学』筑摩書房　2012年　1,760円
・佐藤泰裕『都市・地域経済学への招待状［新版］』有斐閣　2023年　2,200円
・西嶋淳『都市の継承と土地利用の課題』御茶の水書房　2016年　4,840円

●受講上の留意点
・地域経済に対する理解や地域経済にかかわる課題に対する認識を深めるために、教員による解説と受講生の発表や討論を組み合わせた講義形式を基本とします。円滑に討論ができるように、教員の指示の下、発表担当の受講生はレジュメ等を作成し、教員及び他の受講生にも配布するよう心がけて下さい。
・地域経済学はマクロ経済学やミクロ経済学を理論的基礎としていますので、受講の前提として、これらの経済学の考え方や専門知識並びに分析方法について理解を深めておいて下さい。